



## 平成 26 年度サイエンスメンター制度事業研究発表会

去る平成 27 年 3 月 30 日（月）に、平成 26 年度のサイエンスメンター制度事業の研究発表会が、（公財）日本科学協会の事務所がある日本財団ビル 2 階の大会議室で開催されました。



研究発表会場様子

当日は幸いに晴天に恵まれ、午前 10 時から大島美恵子日本科学協会会長の挨拶に始まり、午後 4 時まで、15 件の個人研究と、3 件のグループ研究が、それぞれ 15 分の持ち時間で口頭発表されました。

詳細は別紙のプログラムをご覧ください。また、講演要旨は、後日、科学協会の Web ページに掲載の予定です。



科学技術高校 佐藤さん



安房高校 森さん



大島会長の挨拶



戸山高校 関さん



鶴岡北高校 菅原さん

川越高校の  
三木さん・加瀬さん  
佐藤さん



穎明高校 山本さん

発表は全員がパワーポイントを利用し、発表時間は7分、質疑・応答が8分でした。当初、発表時間の短いことが心配されましたが、発表のほとんどが時間内で終わり、質疑も活発でした。



質疑応答風景

出席者は、平成26年度のメンティー・メンター・学校の先生をはじめ、一部の父兄、関係者を含め総勢84名で、参加したほとんどの方々が最初から最後まで熱心に発表を聞いていました。



両国高校 森田さん

研究発表の終了後、高橋正征サイエンスメンター制度事業チェアの講評、メンティー一人一人に修了証書の授与、集合写真を撮影し、午後4時45分に研究発表会を終了しました。その後、8階の食堂に移動して、5時半から7時半まで、参加者の皆さんが立食の懇親会で意見交換して親交を深めました。

研究発表会に先立ち、発表ごとに講演要旨を提出していただきました。また、パワーポイントデータは会場で使用するPCとの相性をチェックするために、事前にメールで事務局まで送っていただきました。



高橋正征サイエンスメンター制度事業チェアの講評



國學院栃木高校 尾花さん



海城高校 清水さん



集合写真撮影

日時：平成27年3月30日(月)  
会場：日本財団ビル 2F 大会議室A

時間	氏名	高校/学年/研究分野 【研究課題】	メンター/アシスタント (敬称省略)
10:00~ 10:15		開会 会長挨拶 公益財団法人 日本科学協会 大島 美恵子	
10:15~ 10:30	山本 萌生	福明館中学高等学校2年 生物 「アリの行列における方向認識に関する研究」	(一社)国際環境研究会プログラム・オフィサー、信州大学農学部特任教授農学部コーディネータ 福山 研二
10:30~ 10:45	森 俊介	千葉県立安房高等学校2年 化学 「100均タッパ燃料電池の生活への応用」	千葉大学大学院工学研究科共生応用化学専攻准教授 中村 将志
10:45~ 11:00	尾花 拓海	国学院大学栃木高等学校2年 天文 「星の動きと気象要素」	国立天文台副台長、 渡部 潤一
11:00~ 11:15	石井 大暉	市川学園 市川中学高等学校3年 生物 「クマシの分布に影響する要因」	駿河台大学 経済経営学部教授 伊藤 雅道
11:15~ 11:30	橋本 向貴	市川学園 市川中学高等学校2年 化学 「ヨウ素化合物の電子状態の計算」	千葉大学 共生応用化学科准教授 松本 祥治
11:30~ 11:45	佐藤 天馬	静岡県立科学技術高等学校2年 物理 「モータの運転特性とDCモータの制御装置」	静岡大学 大学院工学研究科 電気電子工学専攻教授 野口 敏彦
11:45~ 12:00	関 優沙	東京都立戸山高等学校2年 化学 「桃種子からの油脂の抽出」	成蹊大学 理工学部教授 原 節子 成蹊大学理工学研究科修士課程1年生 相澤 友里
12:00~ 13:00		昼食 休憩 場所：会議室D	
13:00~ 13:15	加藤 貴丈	愛媛県立西条高等学校2年 生物 「プランナリアの能力に関する研究」	愛媛大学 理学部生物学科准教授 村上 安則
13:15~ 13:30	菊居 克樹	神奈川県立神奈川総合高等学校2年 生物 「食用きのこの揮発性物質がチャコラナメグジに及ぼす影響」	近畿大学農学部 環境管理学科里山生態研究室准教授 薄島 拓夫
13:30~ 13:45	菅原 詩南	山形県立鶴岡北高等学校2年 生物(情報科学) 「色について」	東京大学 大学院総合文化研究科 相関基礎科学系教授 西井 邦彦

時間	氏名	高校/学年/研究分野 【研究課題】	メンター/アシスタント (敬称省略)
13:45~ 14:00	池田 真衣	山形県立鶴岡北高等学校2年 気象(地学) 「冬の雪」	ウェザー・サービス株式会社 研究開発部長 道本 光一郎
14:00~ 14:15	森田菜幸映	東京都立両国高等学校1年 生物 「オオカナダモの培養条件の差異に伴う光合成能力の変化」	東京海洋大学 海洋観測支援センター特任教授 石丸 隆
14:15~ 14:30		休憩	
14:30~ 14:45	三木佑太郎 加瀬 友太 佐藤 翔	埼玉県立川越高等学校2年 物理 「建造物周辺における風速の変化の研究、及び川越高校での風力発電機設置の検討」	東京大学 大学院工学系研究科名譽教授 河内 啓二
14:45~ 15:00	西尾 真輝	海城中学高等学校2年 天文 「エアロゾルが夜空の明るさに及ぼす影響」	国立天文台副台長 渡部 潤一
15:00~ 15:15	廣木颯太郎	海城中学高等学校1年 天文 「夜空の明るさ(南極での観測)」	国立天文台副台長 渡部 潤一
15:15~ 15:30	清水 彬光	海城中学高等学校1年 地学 「新宿区おとめ山公園の湧水とその周辺の地下水に関する研究 ～湧量推定～」	首都大学東京 都市環境学部地理環境コース 都市環境科学研究科地理環境科学准教授 松山 洋
15:30~ 15:45	橋田 一輝	東京都立戸山高等学校2年 化学 「ジェネリック医薬品の溶出率の比較」	北里大学 薬学部 薬学教育研究センター准教授 西野 貴司
15:45~ 16:00	紺野沙友莉 矢島 佳歩	東京都立戸山高等学校2年 化学 「タンポポの根を利用したゴム成分の抽出」	群馬大学 工学研究科応用化学・生物化学科教授 山延 健
16:00~ 16:15		休憩	
16:15~ 16:45		高橋正征准教授の講評、修了監督授与・集合写真・閉会	
17:30~ 18:30		懇親会 場所：8F食堂 (立食)	

※本サイエンスメンター制度事業は日本財団の支援により実施されております。

## サイエンスメンター制度事業の2年目の延長

サイエンスメンター制度事業の実施期間は原則として1年間ですが、次のようなケースでは2年目の延長が試験的に認められています。

1. 研究を1年生で行った場合、2年生での延長が可能です。その場合、新規申請をして審査を受けることとなります。平成27年度の清水彬光さん(海城中学高等学校2年”新宿区おとめ山公園の湧水とその周辺の地下水に関する研究”)と、廣木颯太郎さん(海城中学高等学校2年”南極での夜空の明るさメカニズムの解明(エアロゾル、オーロラの影響調査)”)がこのケースです。
2. 2年生で行った研究の成果をレポートとしてまとめると良いと選考委員会が判断し、メンティー・メンター・学校の担当の先生がそれを希望した場合には、レポートのまとめとして半年の延長が可能です。紺野紗友莉さんと矢島佳歩さん(都立戸山高等学校3年”タンポポの根を利用したゴム成分の抽出”)と、関優沙さん(都立戸山高等学校3年”桃種子からの油脂の抽出”)がこのケースです。

## ～事務局 加瀬より～

春を通り越してすっかり初夏の陽気になりましたがすでに暑いくらいですね。メンター制度も新年度を迎えて一カ月を過ぎ、ようやくひと段落ついたところです。メンティー・先生・メンターのどなたでも、ニュースやニュースレターに関して、ご希望があれば遠慮なく事務局にご連絡下さい。また、こんな情報を書きたい・知りたいというご要望をお寄せいただいても結構です。

発行元： 公益財団法人 日本科学協会 企画室

サイエンスメンターニュース 第1巻 第2号

発行日：2015年5月7日

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル 5F TEL:03-6229-5360 FAX:03-6229-5369

URL: <http://www.jss.or.jp/ikusei/mentor/>

E-mail: [kikaku@jss.or.jp](mailto:kikaku@jss.or.jp)

